

授業科目(ナンバリング)		中国語ⅠA (AC115)		担当教員	韓 榮芝		
展開方法	演習	単位数	1 単位	開講年次・時期	1 年・前期	必修・選択	選択
授 業 の ね ら い							アクティブ・ラーニングの類型
この授業は、1 年次から初めて学ぶ中国語の科目であり、2 年次で開講される「中国語ⅡA・B」と「中国語会話」の前段をなすもので、中国語学習の“入門”に当たる。従って、この授業の到達目標は次の通りである。①中国語となる漢字の基礎構造とその発音の特徴を理解する。②様々なツールを使って、中国語の発音方法や基本文法を習得することができる。③中国語の語感を身につけながら簡単な対話ができる。これらを通して、中国や中国語圏域の各国の文化や現状に関心を持ち、中国人留学生と積極的にコミュニケーションを取り、社会人として必要な幅広い教養やホスピタリティの精神を身につけてもらいたい。							①②③⑧⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法	評価比率
専門力							
情報収集、分析力	中国や中国語圏域の国々の社会情勢を的確に把握することができる。					レポート	10%
コミュニケーション力	中国語の基礎表現(【拼音】を読む)をすることができる。中国語の会話(挨拶など)を活用した取り組み(本学の留学生との交流活動)に参加することができる。					授業参加 定期試験	10% 50%
協働・課題解決力	積極的に中国や中国語圏域の国々の歴史や文化理解のために共に取り組むことができる。					出席カードコメント欄の内容	10%
多様性理解力	中国の文化などを理解し、本学の留学生と互いに交流を深めることができる。					小テスト プレゼンテーション	10% 10%
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
定期試験の成績を 50% とし筆記試験を行う(択一式、穴埋め式、など、持ち込み不可)。 小テストは、全部で 5 回、発表は授業毎に行う。基礎知識(語音とその意味、文法など)の確認を主とする。 課題レポートは、15 回目に DVD で見た内容に係る課題を問う。 授業毎に、中国語で出席を確認し、同時に書く練習や発音の練習を加え、練習課題の提出を求め、グループワークやプレゼンテーションを行い、授業への参加意欲を評価材料とする。また、ポートフォリオの課題、レポート、小テストなどのフィードバックを授業で行う。ポートフォリオでも、課題などのフィードバックを行うので確認すること。なお、不適切な授業態度(教科書を持参しない、遅刻、私語、携帯電話などの使用、居眠りなど)は、発覚した場合に減点の対象となる。							
授 業 の 概 要							
教科書に従って授業を進めるが、必要に応じて配布プリントや DVD プレイヤーなどをもとに解説する。授業の各回において、前回までの学習内容を復習しながら発音の練習を強化する。授業中に学生個々に対して発音の練習や発表を行う。授業の主な時間を発音に充て、夏休みまでに基本的な表現を一通りマスターする。この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、45 分とする。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書：教科書：野村邦近〔著〕 『はじめての中国語』 株式会社ナツメ社 参考書：必要に応じ指示する 指定図書：教科書：野村邦近〔著〕 『はじめての中国語』 株式会社ナツメ社							

授業外における学修及び学生に期待すること

近い将来、観光業界などで活躍するために、中国語の習得も条件の1つであろう。また、グローバル化が進んでいる今日、中国や中国語圏（シンガポール、マレーシアなど）の国々に対する理解においても重要な科目である。中国語を身につけるには、教室の勉強だけでは足りないと考えられるので、自ら中国語の面白さを見つけて、積極的に勉強することが望ましい。

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予習・復習
1	ガイダンス 中国語の発音 声調	授業の進め方及びスケジュールを把握する 音節及びその構造・表音字母名称表・4種類の声調（四声の変化）について学ぶ。	・ CD 1-1 を聞き、声調の練習を行い、耳に慣れておく ・ 母音(36)の練習を行う
2	中国語の発音 母音	単母音・二重母音・三重母音・尾音を持つ複合母音声母を学ぶ。グループワークで発音練習を確かめ合う。	・ CD1-2 の発音を聞き、耳に慣れる ・ 21 個の子音の練習 ・ 小テストの準備
3	中国語の発音 子音	唇音・舌尖音・舌根音・舌面音・そり舌音・舌歯音を学ぶ。小テストをする。	・ CD1-3 の発音を聞き、耳に慣れる ・ 母音(36)の練習を行う
4	中国語の発音と語感	単語の発音及びご挨拶の言葉について学ぶ。プレゼンテーションを行う。	・ CD を聞き、耳に慣れる ・ 教科書 P 20～23 の復習 ・ 小テストの準備
5	名詞述語文 その 1	小テストをする テーマにおける文法と基本構文	・ CD2-1～2-2 を聞き、耳に慣れる ・ P24～27 の予習
6	名詞述語文 その 2	テーマにおける文法と基本構文	・ CD2-3～2-4 を聞き、耳に慣れる ・ P28～31 の予習
7	名詞述語文 その 3	テーマにおける文法と基本構文 名詞述語文についてプレゼンテーションを行う。	・ CD2-5～を聞き、耳に慣れる ・ P32 の予習 ・ 小テストの準備
8	形容詞述語文	小テストをする テーマにおける文法と基本構文	・ CD2-8 を聞き、耳に慣れる ・ P38 の予習 ・ 小テストの準備
9	動詞述語文	テーマにおける文法と基本構文 形容詞及び動詞述語文についてプレゼンテーションを行う。	・ CD2-9 を聞き、耳に慣れる ・ P38～の予習 ・ 小テストの準備
10	数字	小テストをする テーマにおける文法と基本構文	・ CD2-10 を聞き、耳に慣れる ・ P40 日付についての予習
11	日付	テーマにおける文法と基本構文	・ CD2-11 を聞き、耳に慣れる ・ P41 からの予習
12	時間	テーマにおける文法と基本構文 数字、日付、時間の言い方についてプレゼンテーションを行う。	・ CD2-12 を聞き、耳に慣れる ・ P44～発音の復習と文法のまとめ ・ 小テストの準備
13	発音の復習	小テストをする 「発音編」と「基本編」の復習	・ CD1-17 を聞き、耳に慣れる ・ P50～の予習
14	文法のまとめ	中国文の構造(品詞：動詞、名詞、形容詞など)及び用例小テストをする	・ 主語・述語・目的語・限定語・状態語・補語についての復習 ・ 定期試験の準備
15	まとめ	前期の学習内容の振り返り、重要な発音と挨拶などの総復習 中国の事情について(DVD)	・ CD を聞き、本文を熟読、練習問題をする ・ DVD 観賞 ・ 課題レポートの作成
16	定期試験	筆記試験	・ 試験のための準備

授業科目(ナンバリング)	中国語ⅠA (AC115)			担当教員	※劉 雲楓		
展開方法	演習	単位数	1単位	開講年次・時期	1年・前期	必修・選択	選択
授 業 の ね ら い							アクティブ・ラーニングの類型
この授業では、初めて中国語を学ぶ人を対象として、発音とその表記法(ピンイン)、入門レベルの文法と表現形式を学び、アクティブラーニングの方法をもとにコミュニケーション能力の向上を図ることをねらいとしている。また、中国および漢語圏の各国・地域の歴史・社会・文化の諸相を多面的な視野から考察するために、必要な視点や基礎的な知識を学習する。							②③⑧ ⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学 生 の 授 業 に お け る 到 達 目 標					評価手段・方法	評価比率
専門力	・ピンインを正しく読み書きすることができる。 ・自力で中国語の短文を朗読することができる。 ・簡単な会話ができるようになる。					・中間試験	20%
情報収集、分析力	中国語の表現・理解の習得を図り、漢語圏の各国・地域の歴史や文化の学習に積極的に取り組むことができる。					・課題レポート	5%
コミュニケーション力	これから経験する言語活動の学習により、基礎的な中国語会話能力を身に付けるとともに情報発信力を付けることができる。					・発表 ・小テスト	20% 20%
協働・課題解決力	中国語の基礎表現(読み・書き)と活用を図り、中国語の特性の理解に努めるとともに互いに交流を深めることができる。					・授業態度・授業への参加度	5%
多様性理解力	中国語を学ぶことを通して、中国及び漢語圏の社会、文化などに関心を持ち、異文化を理解できる。					・定期試験	30%
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
小テストは、第2回目から毎回行う。単語を主とする。 中間試験は、1回行う。基礎知識、授業内容の理解度の確認を主とする。 定期試験は、筆記試験で、教科書や資料などの持込み不可。							
授 業 の 概 要							
この授業は中国語の基本である発音を身に付け、簡単な日常会話を習得させると同時に、これを通じて現代中国の文化や社会について理解させることを目標とする。授業方法としては、教科書を用いた指導を基本とする。内容が理解しやすいように、要点をパワーポイントによって解説し、定期的にプリント、視聴覚教材を用いることがある。また、課題レポートや小テストのフィードバックは授業中に適宜行う。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書：陳淑梅・劉光赤『しゃべっていいとも中国語・中西君と一緒に中国へ行こう!』朝日出版社 参考書：授業を通して指示する 指定図書：陳淑梅・劉光赤『しゃべっていいとも中国語・中西君と一緒に中国へ行こう!』朝日出版社							
授業外における学修及び学生に期待すること							
中国語は正確な発音の習得が成否を決定する。授業の前も後も音読をしっかりと行ってください。多くの漢語圏の観光客が日本を訪れて、日本国内の企業が中国語に堪能な人材を今求められている。積極的に学んでください。教科書は各自必ず購入してください。購入しない場合には受講を認めません。授業中の私語、睡眠、理由のない遅刻、欠席、途中退室は認めません。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	挨拶 1 「你好」	中国語とは 音節、声調について	予習：シラバスを読んで おく。テキスト P2～7 の 予習
2	挨拶 2 「明天见」	声調の変調 単母音、複母音、ピンイン書き方の変化	予習：P7～10 復習：四つの声調変化
3	挨拶 3 「谢谢」	子音(1～14)、無気音と有気音 声調記号のつけ方	予習：P12～14 復習：母音、e の発声の変化
4	挨拶 4 「好久不见」	子音(15～21)、 鼻音、r化	予習：P16～18 復習：子音の発音
5	紹介 1 「迎接」	人称代名詞 姓とフルネームのいい方、たずね方	予習：P20～22 復習：鼻音、n/ng
6	紹介 2 「欢迎会」	動詞「是」 助詞「的」 中国語の平叙文	予習：P26～28 復習：人称代名詞
7	尋ねる 1 「打的」(1)	中国語の基本語順(1) S+V+O 肯定文、否定文	予習：P30～32 復習：平叙文の構文
8	尋ねる 2 「打的」(2)	中国語の基本語順(1) S+V ₁ +O+V ₂ +O 疑問文、連動文	予習：P32～35 復習：否定文
9	尋ねる 3 「问路」	動詞「有」、「在」 前置詞「从」、「往」	予習：P44～46 復習：疑問詞、疑問文
10	尋ねる 4 「买东西」(1)	中間試験 数字 お金のいいかた(話し言葉、書き言葉)	予習：P48～50 復習：方位詞
11	数える 1 「买东西」(2)	模擬試験の解説 形容詞が述語になる文 副詞「很」、「非常」、「真」	予習：P51～53 復習：三桁以上の数字のい いい方
12	数える 2 「聊天」(1)	時刻、日付のいい方 数量詞	予習：P54～56 復習：形容詞
13	数える 3 「聊天」(2)	年齢のいい方 家族構成	予習：P57～59 復習：年月日、曜日、時刻
14	発音、文法の復習	発音の確認 動画鑑賞 1	ピンインの発音、肯定文、否 定文、疑問文の復習
15	まとめ	動画鑑賞 2 全体の重要事項の理解と確認	全体の復習、重要事項の確 認
16	定期試験	筆記試験	定期試験の準備

授業科目(ナンバリング)	中国語ⅠA (AC115)			担当教員	※楊 雯嬾		
展開方法	演習	単位数	1 単位	開講年次・時期	1 年・前期	必修・選択	選択
授 業 の ね ら い							アクティブ・ラーニングの類型
中国語は中国だけでなく、シンガポールやマレーシアなどの国々でも幅広く使用されており、さらに近年中国のめざましい経済発展のため、アジアの世界だと言われている 21 世紀の現在、世界中に中国語の学習者が多くいる。中国語学習は大きな世界へ繋がるツールを手に入れることだと言えよう。本授業は中国語をゼロから始める初心者を対象に、ピンインから「中国語Ⅱ」「中国語会話」の基礎となる入門レベルの文法知識・実用表現を習得すること、及び中国語圏の文化への理解を深めることを目標とする。							①②③ ⑥⑨
ホスピタリティを構成する能力	学 生 の 授 業 に お け る 到 達 目 標					評価手段・方法	評価比率
専門力	・ピンインを正しく「読む・書く・話す・聞く」ことができる。 ・朗読ができ、中国語のリズムを感じることができる。 ・平易な会話(ご挨拶など)ができる。					・定期試験	15%
情報収集、分析力	・中国(語)に関連する情報の収集に積極的に取り組むことができる。 ・様々な情報収集ツール(辞書、ネット等)を活用することができる。					・発表	10%
コミュニケーション力	積極的に既習知識を活用し、中国語でコミュニケーションをとることができる。					・発表 ・小テスト	20% 15%
協働・課題解決力	・授業中の様々な活動に積極的に参加することができる。 ・中国(語)への理解を深めるために、他人(教師や学生同士など)と積極的に交流することができる。					・授業態度・授業への参加度	15%
多様性理解力	・言語：日中両言語の異同を少しでも理解することができる。 ・非言語：漢語圏の社会、文化に関心を持ち、多様性に対する理解を深めることができる。					・定期試験	25%
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
・定期試験の成績を 40%とし、筆記試験で既習した知識の習得状況を確認する。(教科書や資料などの持ち込み不可) ・発表の成績を 30%とし、発表の内容と討論への参加度合で評価する。(第 14 回目の授業で行う) ・小テストの成績を 15%とし、毎回の授業で前回の内容を習得したかを確認する。(第 1 回目の授業を除く) ・授業態度及び授業への参加度の成績を 15%とし、遅刻欠席回数や授業への参加度合などを基準に評価する。 ※ 発表、小テスト、口頭練習などに対するフィードバックを授業で行う。							
授 業 の 概 要							
・資料：教科書を基本資料とし、パワーポイント(プリントの時もある)を補助資料として授業を行う。 ・進め方：「復習＞新出単語・本文＞文法解説＞ワードバンク＞ドリル＞答疑」の流れに従う。(変わる時もある) ・目標：①ピンインを身につける ②入門レベルの文法と表現を習得する ③中国の社会文化について理解が深まる ・この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、45 分とする。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書：陳淑梅・劉光赤(2010).『しゃべっていいとも中国語・中西君と一緒に中国へ行こう!』,朝日出版社 参考書：特になし。適宜授業中に指示する。 指定図書：陳淑梅・劉光赤(2010).『しゃべっていいとも中国語・中西君と一緒に中国へ行こう!』,朝日出版社							
授 業 外 に お け る 学 修 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と							
・予習と復習をすること(毎回授業後の復習をしっかりすれば、言語学習は楽になる)。 ・毎回の授業、必ず教科書と好奇心を持って積極的にご参加ください。 ・教科書以外の資料も活用すること(例:教科書の CD、参考書、辞書、歌、NHK テレビ・ラジオ番組 など)。 ・毎日 10 分間でも中国語を大きい声で読んでください。 ・中国(語)の魅力を発見し、学習意欲を維持すること。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	第 1 課 「你好」	中国語とは？(簡体字・繁体字、ピンイン、声調) シラバスの説明	予習：教科書 pp. 2～6； シラバスの確認
2	第 2 課 「明天見」	母音(単母音、複母音)	予習：教科書 pp. 8～10； 復習：声調
3	第 3 課 「谢谢」	子音(1～14) 声調記号のつけ方	予習：教科書 pp. 12～14； 復習：母音(単・複母音)
4	第 4 課 「好久不见」	子音(15～21) 母音(鼻音) r化音	予習：教科書 pp. 16～18； 復習：子音(1～14)；声調記 号のつけ方
5	第 5 課 「迎接」	名前のいい方 名前のたずね方 人称代名詞	予習：教科書 pp. 20～22； 復習：子音(15～21)、母音 (鼻音)、r化音
6	第 6 課 「欢迎会」	動詞「是」(動詞述語文) 助詞「的」	予習：教科書 pp. 26～28； 復習：名前の言い方・たず ね方、人称代名詞
7	第 7 課 「打的」(1)	中国語の基本語順 連動文	予習：教科書 pp. 32～34； 復習：動詞「是」(動詞述語 文)、助詞「的」
8	第 7 課 「打的」(2)	ワードバンク・ドリル	予習：教科書 p. 35； 復習：中国語の基本語順、 連動文
9	第 8 課 「住宿」(1)	助動詞「想」 動詞「有」 指示代名詞	予習：教科書 pp. 38～40； 復習：中国語の基本語順、 連動文
10	第 8 課 「住宿」(2)	ワードバンク・ドリル	予習：教科書 p. 41； 復習：助動詞「想」、動詞 「有」、指示代名詞
11	第 9 課 「问路」	動詞「在」 前置詞「从」「往」 方位詞	予習：教科書 pp. 44～46； 復習：助動詞「想」、動詞 「有」、指示代名詞
12	第 10 課 「买东西」(1)	数・お金のいい方 値段のたずね方 形容詞述語文	予習：教科書 pp. 50～52； 復習：動詞「在」、前置詞 「从」「往」、方位詞
13	第 10 課 「买东西」(2)	ワードバンク・ドリル	予習：教科書 p. 53； 復習：数のいい方、形容詞 述語文
14	発表	中国(語)に関連するテーマ(グループ)	予習：発表の準備； 復習：数のいい方、形容詞 述語文
15	まとめ	前期内容の復習	復習：前期の内容
16	定期試験	筆記試験	定期試験の準備

授業科目(ナンバリング)	中国語ⅠB (AC116)			担当教員	韓 榮芝		
展開方法	演習	単位数	1単位	開講年次・時期	1年・後期	必修・選択	選択
授 業 の ね ら い							アクティブ・ラーニングの類型
この授業は、1年次から初めて学ぶ「中国語ⅠA」に引き続き、2年次で開講される「中国語ⅡA・B」と「中国語会話」の前段をなすもので、中国語学習の“入門”に当たる。従って、この授業の到達目標は次の通りである。 ①中国語で簡単な自己紹介ができる。 ②簡易な中国語の読み書きができる。 ③リスニングとスピーキングはスムーズにできる能力を見につける。 これらを通して、次年度の中国語運用能力のアップにつながり、社会人として必要な幅広い教養やホスピタリティの精神を身につけてもらいたい。							①③⑦⑧⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学 生 の 授 業 に お け る 到 達 目 標					評価手段・方法	評価比率
専門力							
情報収集、分析力	中国や中国語圏域の国々の社会情勢を的確に把握することができる。中国人留学生とディスカッションすることができる。					課題レポート	5%
コミュニケーション力	授業で学んだ基礎中国語を用いて、中国人及び中国語圏域の人々とコミュニケーションを図ることができる。					プレゼン 定期試験	20% 50%
協働・課題解決力	積極的に中国や中国語圏域の国々の歴史や文化に取り組むことができる。					出席カードコメント欄の内容	10%
多様性理解力	基礎文法を理解し、表現(読み取り・書き)することができる。中国の文化などを理解し、互いに交流を深めることができる。					小テスト 課題レポート	10% 5%
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
定期試験の成績を50%とし筆記試験を行う（択一式、穴埋め式、など、持ち込み不可）。 課題レポートは、11回目にDVDで見た内容に関係する課題を問う。 授業毎に、中国語で出席を確認し、同時に書く練習や発音練習、グループワークや発表などを加え、授業への参加意欲を評価材料とする。 授業の最終2回で中国語を用いて簡単な自己紹介文を作成し発表する（原稿なしで1人2分間）。 また、ポートフォリオの課題、レポート、小テストなどのフィードバックを授業で行う。ポートフォリオでも、課題などのフィードバックを行うので確認すること。なお、不適切な授業態度（教科書を持参しない、遅刻、私語、携帯電話などの使用、居眠りなど）は、発覚した場合に減点の対象となる。							
授 業 の 概 要							
基本的に教科書に従って授業を進める。授業中に極力1人ひとりに話してもらえるよう時間を取り、スムーズに言えるようになるまで練習する。中国語ⅠAで学んだ発音や初級文法を確認しながら、より実践的な内容を進む。習ったことの定着を図るために、定期的に小テストを行う。簡単な自己紹介を発表できるように個別指導を実施する。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書：教科書：野村邦近〔著〕 『はじめての中国語』 株式会社ナツメ社							
参考書：必要に応じ指示する							
指定図書：教科書：野村邦近〔著〕 『はじめての中国語』 株式会社ナツメ社							
授業外における学修及び学生に期待すること							
将来、観光業界などで活躍するために、中国語の習得も条件の1つであろう。また、グローバル化が進んでいる今日、中国や中国語圏（シンガポール、マレーシアなど）の国々に対する理解においても重要な科目である。中国語で簡単なコミュニケーションができるようになることを期待している。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	ガイダンス	授業の進め方及びスケジュールを把握する	・シラバスを読む ・前期筆記試験の回答・復習
2	発音の復習	中国語ⅠAで学んだ発音などの復習	・CD1-17の発音を聞き、発音の復習をする
3	基礎文法の復習	中国語ⅠAの定期試験の解答及び訂正	・基礎文法の練習（配布した宿題を作成する）
4	動詞述語文	テーマにおける文法と基本構文の練習（グループワークで発音練習を確かめ合う）・発表（実践応用）	・CD2-13の発音を聞き、動詞述語文について調べ、練習問題を作成する（宿題）
5	動詞・副詞・動詞使役用法	テーマにおける文法と基本構文の練習（グループワークで発音練習を確かめ合う）・発表（実践応用）	・CD2-14の発音を聞き、使役用法について調べる ・練習問題の作成（宿題）
6	反復動詞疑問詞・選択疑問詞・数字疑問詞	テーマにおける文法と基本構文の練習（グループワークで発音練習を確かめ合う）・発表（実践応用）	・CD2-15の発音を聞き、疑問詞の種類を調べ、宿題の作成
7	特殊な動詞	テーマにおける文法と基本構文の練習（グループワークで発音練習を確かめ合う）・発表（実践応用）	・CD2-16の発音を聞き、特殊な動詞について調べ（宿題）
8	存在、方位詞	テーマにおける文法と基本構文の練習（グループワークで発音練習を確かめ合う）・発表（実践応用）	・CD2-18の発音を聞き、存在、方位詞の練習（宿題）
9	前置詞、程度補語	テーマにおける文法と基本構文の練習（グループワークで発音練習を確かめ合う）・発表（実践応用）	・CD2-19の発音を聞き前置詞、程度補語の練習（宿題）
10	主語述語文	テーマにおける文法と基本構文の練習（グループワークで発音練習を確かめ合う）・発表（実践応用）	・CD2-20の発音を聞き主語述語文の練習（宿題）
11	能願動詞・助動詞	テーマにおける文法と基本構文の練習（グループワークで発音練習を確かめ合う）・発表（実践応用） DVDで中国の実情について	・CD2-21の発音を聞き能願動詞の練習（宿題） ・課題レポートの作成
12	挨拶文の総まとめ	テーマにおける挨拶的な表現の総合練習・発表	・配布資料の講読、暗唱する
13	自己紹介文	基礎文法と基本構文を取り入れた自己紹介文の作成、練習する（実践応用）	・自己紹介文の作成、発表準備
14	自己紹介	自己紹介文に沿った発表（実践応用）	・テストの準備
15	まとめ	前期の学習内容の振り返り、重要な文型と表現などの総復習及び確認 練習問題の質疑応答・模擬テスト	・文法の総まとめ（宿題） 定期試験の準備
16	定期試験	筆記試験	・定期試験の準備